工務店・製造・土業・中小企業のPower Automateの導入と構築

メールとExcelとTeamsの手作業を、Power Automateで自動にする。

Microsoft 365の中に残っている手作業の棚卸しから、Outlook・Excel・Teams・SharePointのフロー、申請と承認、
Power Automate Desktopでの画面操作、Power AppsとSharePointリストの入力画面まで、Nexlyがまとめて引き受けます。



Nexly　株式会社Nexly　サービス資料

こんなお悩みはありませんか

手で続けている作業を、フローに置き換えます

- ✓ 共有メールボックスに届く請求書のPDFを、毎日手でSharePointのフォルダに保存している
- ✓ 問い合わせや申込を、メールからExcelの台帳に手で写し、Teamsで担当に知らせている
- ✓ Power Automateが使えるらしいが、何から作ればいいか、いまのライセンスでどこまで動くのか分からない
- ✓ 前任者が作ったフローが止まっていて、誰の名前で動いていたのか、どこを直せばいいか分からない
- ✓ 休暇や経費の申請が紙とメールのままで、誰の承認で止まっているか見えない
- ✓ 業者の発注サイトへの入力を、毎日同じ手順で手で打ち込んでいる

NexlyのPower Automate導入は、**自動にするフローの本数で金額が決まる3つの定額**です。
手作業の棚卸しからフローの作成、承認と入力画面、作ったあとの管理まで、同じ担当が見ます。

NexlyのPower Automate導入の特徴

棚卸しして、つないで、止まらない形にします

特徴 1

作る前に、手作業を1枚の表にして、自動にする順番を決めます

毎日・毎週・毎月の手作業を並べ、何をきっかけに始めて、結果をどこに残し、誰に知らせるかを決めます。クラウドフローで済むもの、Desktopが要るもの、Premiumのライセンスが要るもの、向かないものもここで分け、金額もここで確定します。

特徴 2

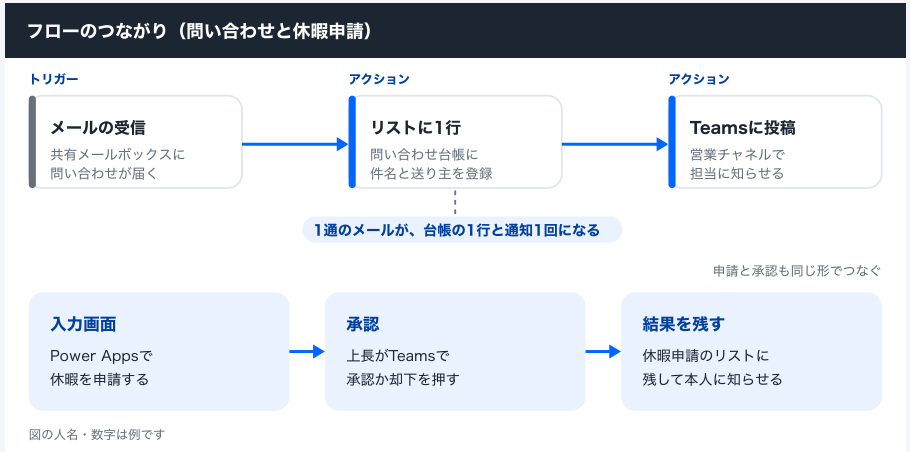
メール・リスト・Teams・承認を、1本のフローでつなぎます

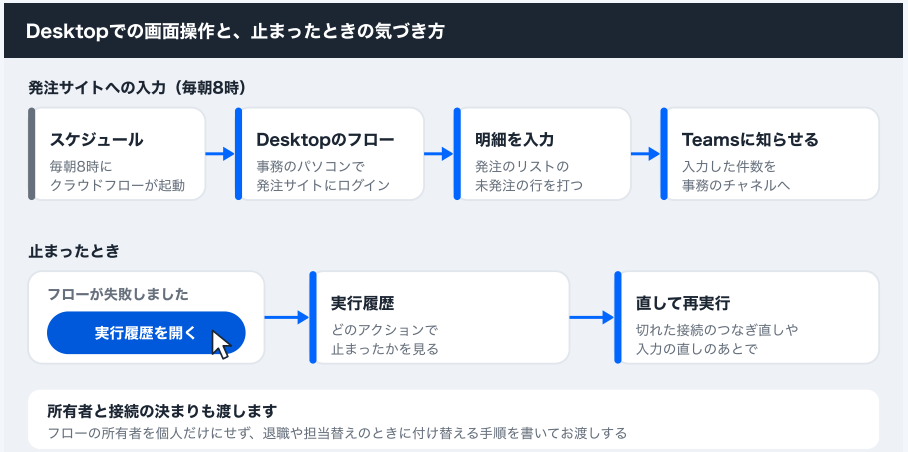
共有メールボックスの問い合わせをSharePointリストに登録してTeamsで知らせる。休暇や経費の申請はPower Appsの入力画面から出し、上長がTeamsで承認したら台帳に残す。標準のコネクタで組めるものから先に作ります。

特徴 3

画面操作の自動化と、止まらない運用の決まりまで渡します

APIのない発注サイトへの入力や古いマクロの代わりはPower Automate Desktopで自動にします。フローの所有者を個人だけにせず、失敗の知らせと実行履歴の見方、退職や担当替えのときの手順も渡します。





設計の例

最初にお渡しするのは、手作業の棚卸しの表です

手作業の棚卸し（作り始める前に決める表の例）

手作業	回数	きっかけ	フローの種類	結果を残す場所	知らせる相手
請求書PDFの保存	毎日	メールの受信	自動	工事案件のフォルダ	経理
問い合わせの登録	毎日	メールの受信	自動	問い合わせ台帳	営業
休暇申請	随時	入力画面	承認	休暇申請のリスト	上長・総務
月次の売上集計	毎月	毎月1日	スケジュール	売上集計のExcel	代表
発注サイトへの入力	毎日	毎朝8時	Desktop	発注のリスト	事務

無料相談のあと、いまの手作業と使っているMicrosoft 365を伺って、この表と、フローの組み方の方針をまとめてお出しします。

プランと金額は、この段階で確定します。表のとおりに作るので、作り始めてから金額が膨らむことはありません。

フローも入力画面もリストも、すべて貴社のMicrosoft 365の中に作るので、作ったものはすべて貴社のものです。



料金

自動にするフローの本数で決まる3つの定額です

	小さく始める	部署の仕事を自動にする	会社の仕事を自動にする
料金	15万円	40万円	80万円
使い始めるまで	2週間	4週間	8週間
手作業の棚卸しと設計（どの作業を・どのフローで・誰に知らせるか）	○	○	○
環境と接続の準備・フローの所有者の設定	○	○	○
作るクラウドフロー	3本	8本	15本
Outlook・Excel・Teams・SharePointとのつなぎ込み	○	○	○
条件分岐・承認・失敗したときの知らせ	–	○	○
SharePointリストの台帳と、Power Appsの入力画面	–	○	○
Excelの台帳からSharePointリストへの移行	–	○	○
Power Automate Desktopでの画面操作の自動化	–	–	○
所有者・接続・環境の運用の決まり（退職と担当替えの手順）	–	–	○
HTTP・カスタムコネクタ・n8nでの外のサービスとの連携	–	–	○
使い方の説明会	1回	2回	3回

金額はすべて税別です。Microsoft 365とPower Automateのライセンス料は、Microsoftまたは契約中の販売店へ直接お支払いいただきます。Premiumのライセンスが要るかどうかは設計のときに一緒に決めます。内容がプランに合わないときは、近いプランから増減してお見積りします。

作ったあとの月額と点検

管理と直しを、毎月の枠で受けます

	月額	内容
管理おまかせ	**1.5**万円	フローの実行履歴と失敗の確認、切れた接続のつなぎ直し、退職と担当替えのときの所有者の付け替え、Microsoft側の仕様変更への追従、月1回の報告。新しいフローの追加は含みません
改善と運用	**5**万円	管理おまかせの内容に加えて、フローや入力画面の直しや追加を月2件、月1回の打ち合わせで動き方を一緒に見ます
聞ける	**2.5**万円	自分で組む人向け。月5問までの質問への回答と、月1回30分の画面共有での相談
点検	**8**万円	1週間。いまの環境のフローを全部見て、止まっているフロー、辞めた人や個人の名前だけで動いているフロー、切れかけている接続、失敗しても誰にも知らせが行かないフロー、ライセンスが足りないコネクタを一覧にし、直す順番と金額を報告書にまとめます。そのまま構築を頼まれた場合は、構築の料金から差し引きます

自分で組みたい

「聞ける」で、詰まったところだけ質問できます。組み方の手順はWebのコラムにも、見本の工務店の例でまとめています。

組んでほしい

構築のプランで作り、そのあとは管理おまかせか、改善と運用で見ます。

いまのフローを直したい

点検で全体を見てから、直す順番と金額をお出しします。

流れ・担当者・会社概要

ご相談から運用まで、代表の大林が担当します

1 無料相談

オンラインで30分ほど、いまの手作業と、使っているMicrosoft 365の画面を一緒に見ます。

2 棚卸しと設計

自動にする作業とフローを1枚の表にし、プランと金額を確定します。

3 構築とテスト

フローと入力画面を作り、本番に近いデータで動かして、担当の方と結果を確かめます。

4 説明会と使い始め

社員の方に使い方と止まったときの見方をご説明し、最初の2週間は実行履歴を見て直します。

5 運用

失敗の確認や接続のつなぎ直し、所有者の付け替え、業務の変化に合わせた直しや追加を月額で受けます。

大林

株式会社Nexly 代表取締役

大林 諒

Web制作会社で8年間、カスタマーサポートと社内システムの部署で部長として約500社のサイト制作と、社内の顧客管理システムの開発・導入を取りまとめてきました。グループ会社3社のマーケティングの責任者として、社内の仕組みも担当してきました。

2024年にNexlyを設立し、いまは中小企業のMicrosoft 365・Power Automate・kintone・n8nの構築を支援しています。作ったあとに止まらず続く形にするところに一番力を入れています。

会社名	株式会社Nexly
設立	2024年5月
所在地	〒664-0873 兵庫県伊丹市野間8丁目4-11-2
事業	Power Automate・Google Workspace・kintone・Salesforce・LINE・n8nの構築と運用、GA4・GTMの計測と広告運用、人材紹介

まずは30分、無料でご相談ください

nexly.co.jp/contact/ からお申し込みいただけます。
まだPower Automateを触ったことがない段階でも、作ったフローが止まって困っている状態でもかまいません。

よくあるご質問

契約の前に、よく聞かれることです

Microsoft 365のライセンスだけで使えますか。

Outlook・Excel・Teams・SharePointなど標準のコネクタを使うクラウドフローは、多くのMicrosoft 365のプランに含まれる範囲で動きます。HTTPやDataverseなどPremiumのコネクタを使う場合や、Desktopのフローをクラウドフローから動かす場合は、別のライセンスが要ります。設計のときに、どのフローに何が要るかを一覧にしてお伝えします。

前任者が作ったフローが止まっています。

点検でいまのフローを全部見て、誰の名前で動いていたか、どの接続が切れているかを確かめます。直せるものは直し、所有者を会社の共有のアカウントや複数の人に付け替えて、同じことが起きないようにします。

kintoneやn8nとどちらがいいですか。

Microsoft 365の中で完結する仕事はPower Automateが向きます。Microsoftの外のサービスが中心の連携や、大量のデータを扱う処理は、n8nやkintoneのほうが向くことがあります。仕事ごとに向き不向きをお伝えし、Power Automateに入れないほうがいいものは入れずに、つなぎ方をご提案します。

パソコンの画面操作も自動にできますか。

はい。APIのない業者のWebシステムへの入力や、Excelの転記は、Power Automate Desktopで自動にできます。ただし相手の画面が変わると止まりやすいので、クラウドフローで済むものはクラウドフローで作り、画面操作は残るところだけに使います。

作ったものは誰のものですか。

フローも入力画面もリストも、すべて貴社のMicrosoft 365の中に作るので貴社のものです。契約が終わってもそのまま使えます。所有者が個人だけにならないように作ります。

打ち合わせは対面ですか。

オンラインで進めます。画面を共有しながら、実際の画面でフローの動きを見て確かめていただきます。